

認知症になっても 安心して暮らせるまちへ

～認知症をみんなで支えよう～

認知症は身近な問題であり、いつ家族や親族が認知症になるか分かりません。本市では正しく認知症を理解し、認知症になっても安心して暮らせるように、さまざまな取り組みを行っています。

問合せ 長寿支援課 ☎33-4436



理解

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解する講座です。認知症サポーターは、認知症で困っている家族や近所の人への声掛けや手助けをするなど、自分のできる範囲で活動してもらいます。

内容 認知症の症状について、治療や予防について、関わり方について

受講時間 約90分

講師 八代市キャラバン・メイット

その他 講座修了者にはオレンジリングが送られます

交流

認知症カフェ

認知症カフェとは認知症の人やその家族だけでなく、専門職や地域住民など誰もが気軽に参加でき、お茶を飲みながら交流できるカフェです。

	いづみの・カフェ	よりあいカフェ・ひかわの里	喫茶やまびこ	はちカフェ
所在地	泉町下岳4350 (小規模多機能型 居宅介護 いづみの里)	東陽町河俣 4804-3 (森本様宅)	上日置町 2345	海士江町2833-1 (地域密着型特別 養護老人ホーム 八代草)
開催日	第4月曜日 午後1時～3時	第2水曜日 (年4回) 午後1時～3時	年3回 (5・11・3月) 午前10時～正午	第1木曜日 午後1時30分 ～3時
利用料金	100円			無料
問合せ	第1地域包括 支援センター ☎53-2601	ひかわの里 ☎65-3100	第2地域包括 支援センター ☎30-8071	第3地域包括 支援センター ☎45-5568

支援

八代市認知症初期集中 支援チーム

認知症専門医の指導の下、保健師や社会福祉士などの複数の専門職がチーム員として、認知症の人や認知症が疑われる人の自宅を訪問し、心身状況・生活環境の確認を行います。その上で、本人や家族の状況に合わせた支援を包括的・集中的に行い、認知症に対する適切な治療につなげ、自立生活のサポートを行います。

※支援は一定期間（おおむね6カ月以内）集中的に行います。

対象 40歳以上の市内の自宅で生活している認知症や認知症が疑われる人で、次の(1)・(2)のいずれかに該当する人

- (1) 医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している人で次の①～④のいずれかに該当する人
 - (2) 医療サービスを受けているが継続していない人
 - (3) 適切な介護サービスに結び付いていない人
 - (4) 介護サービスが中断している人
- (2) 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状(BPSD)により、対応に困っている人
- チーム員** 医療、福祉、介護の専門職によって構成されています。



見守る

高齢者事前登録制度

徘徊の心配がある高齢者を家族などの希望により事前に登録し、警察署や本市などが情報を共有しておき、万一行方不明となった場合には、やっちゃん認知症応援ネットワーク(八代市徘徊SOSネットワーク)協力機関に情報を提供し、早期発見・保護に活用するものです。

相談

認知症に関する相談や申込先

認知症サポーター養成講座や認知症初期集中支援チーム、高齢者事前登録制度などの認知症に関する相談や申し込みは左の連絡先に問い合わせてください。

名称	担当エリア	電話番号
第1地域包括支援センター(ふるさと)	鏡・東陽・泉	53-2601
第2地域包括支援センター(やまびこ)	龍峯・太田郷・千丁・昭和	30-8071
第3地域包括支援センター(だいち)	松高・八千把	45-5568
第4地域包括支援センター(しおかぜ)	麦島・代陽・八代・郡築	37-3337
第5地域包括支援センター(くまがわ)	植柳・高田・金剛・宮地	35-1111
第6地域包括支援センター(おれんじ)	日奈久・二見・坂本	38-3373

または長寿支援課 ☎33-4436